

令和8年度 福光南部小学校 学校運営

1 南砺市の教育

南砺市教育基本理念

未来を切り拓く南砺の人づくり

南砺市学校教育基本目標

豊かな人間性と好ましい人間関係を育む

南砺市学校教育で目指す子供像

ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓く なんとっ子

～12年間を見通した教育の実現を目指して～

2 学校教育目標

ふるさとに根ざし 自ら学ぶ 心身ともに健やかな南部っこ

○ 助け合う子 ○ 考える子 ○ たくましい子

3 本年度の重点目標

**子供が自ら学び 共に育つ学校
～「わくわくする学校」を みんなでつくる～**

◇ 重点目標に込めた願い(子供観・目指す教職員の姿・保護者や地域と共にある学校づくり)

【子供観】(全教職員で共有し、教育の根底に据える)

- ・子供は、誰もが「できるようになりたい」「もっとよくなりたい」と願っている。
- ・子供は、本来、学ぶ意欲と自ら学び、自ら成長する力をもつ能動的学習者である。

この子供観に立ち、子供の力を信じる。一人一人の子供を肯定的に見取り、その子供の思いや願いが実現し、もっている力やよさ、可能性が存分に発揮されるよう、全教職員で支えていく。

そして、教職員自身も子供と共に考え、感じ、悩み、楽しみ、喜び、感動しながら、共に学び、成長していく。

また、この理念や子供の成長への思いや願いを、保護者や地域の方とも共有し、「子供が自ら学び 共に育つ学校」を共に創っていくことを目指す。

【合言葉は、「『わくわくする学校』を みんなでつくる」】

- ★ わくわくする学校:子供が「やってみたい」と挑戦し、もっている力やよさ、可能性を存分に発揮できる学校。
- ★ みんなでつくる :子供同士、子供と教職員が共に考え、悩み、楽しみながら、共に育つ。
教職員・保護者・地域・関係機関が、子供の成長への思いを共有、連携して子供を支える。

4 学校運営の方針 ～教育は信頼から～

子供主体の教育活動

○ 徳:自他の命と心を大切にし、思いやり助け合う子

・命・心・人権を大切にし、自ら考え、判断し、行動する心と姿が広がるようにする。

・挨拶や肯定的な言葉かけて、「自分は大切にされている」(自己存在感)と実感できる学校風土をつくる。

・「生徒指導の実践上の視点」を踏まえ、授業や朝の会等で、全ての子供を支える安心で温かな学級づくりを進める。朝の会「聴き合いタイム」等、子供も教師も互いの思いを分かろうとする態度と認め合う関係を育む場をつくる。(4つの視点:「自己存在感の感受」「共感的な人間関係」「自己決定の場」「安心・安全な風土」)

○ 知 :自分の思いや考えを大切にしながら学び進め、仲間と共に学びを深めていく子

・「楽しい」「やりがいのある」生活科・総合的な学習の時間、「分かる」「できる」教科等の授業づくりに努める。

・子供の思いや考え、よさが生きる授業づくりに努める。(見取り/教材研究/学習課題/展開/支援)

・学びがつながる教科横断的なカリキュラムマネジメントの充実に努める。

○ 体 :心身ともにたくましく、やり遂げようとする子

・健康・体力づくりや安全への意識を高め、自分の生活をよりよくしようとする行動が広がるようにする。

・子供が挑戦し続けられる環境を整え、その姿を支える。

学び続け、支え合う「チーム南部小」の教職員

・南部小ならではのチーム担任制と、個々の教師の強みを生かした教育活動の充実に努める。

・全教職員で子供の見取りに努め、情報共有して、必要な支援がすぐに動き出すチームとして連携する。

・互見授業・OJTで学び合い、学び続け、教師自身が成長を実感していけるようにする。

・危機管理意識をもち、「報・連・相と情報共有」を迅速、確実に行い、事故やいじめ、不登校等の未然防止・早期対応にチームで取り組む。

・互いを気遣い、一人で悩みを抱え込まないよう、安心して相談でき、支え合う教職員文化を大切にする。

家庭・地域と共にある学校づくり

・地域の「人・もの・こと」に学ぶ探究的な学習活動を、子供の成長への思いや願いを共有しながら共に創る。

・家庭や地域、関係機関等と連携し、健康安全指導、特別支援教育、生徒指導を推進する。

・子供の姿や学校の様子を積極的に発信し、対話と誠実な関わりを大切にしていく。

・令和10年度の学校統合を見据え、幼・保・小・中学校12年間の学びの連続性を大切にしながら、今と未来につながる教育活動の充実に努める。